



田村正幸

## 教師への雑務軽減のための支援を

**スキー授業の充実継続や学力向上には教師への雑務軽減のための支援が必要だ**

可能な限り支援したい

2月17日湯沢町で行われた日奥スキー100周年記念シンポジウムで泉田新潟県知事は、スキー人口が減少している。スキー生誕の県であり、スキー観光客490万人が訪れている県として、スキー人口拡大のために学校でのスキー授業を増やしてほしいと話された。先日、中学校と4つの小学校でスキー授業について話を聞いてきた。与えられた人員と環境の中で一生懸命取り組んでいた。中学校体験入学、親善スキー大会、校内スキー大会、新1年生1日入学、学習参観、

一般質問

期末懇談、卒業式・入学式の準備と教員の3学期は忙しい。授業が終わったあと8時頃まで残業し、終わらないと仕事は家に持ち帰り翌朝7時過ぎには学校に出てくる。厳しい労働環境だ。子ども達の学力向上やスキー授業の充実継続には、先生方の雑務の軽減やスキー授業への支援が必要と考え伺います。

**質問**

スキー授業がどのように行われているか把握していただけますか。

**教育長答弁**

県の調査でも県内ではトップレベルの時数と思う。中学は全学年アルペンを1日6時間のまとめ取で行っているが、すこし増やす必要があるのかなという認識

だ。様々なご苦労を抱えながら、地域の特性を生かして積極的に実施していることが確認できた。これまでに要望のなかった学校で大変な面もあるようなので可能な限り支援する必要があると考える。

**質問**

きちんとした基礎を身につけさせるためにスキー学校の教師に授業を頼めないか。

**教育長答弁**

地元のコーチや保護者の協力をお願いしている学校もあるので、学校の実情を把握して支援してゆきたい。

**質問**

スキー場までの移動について、土樽小学校は徒歩で行っている。低学年では40

分もかかり連れて行く教師の負担も大きい。送迎バスを手配できないか。中学校もマイクロボス4台で対応しているが、すべてを公用車かバス会社に変われないか。

**教育長答弁**

土樽小低学年については安全と時間の有効活用を考慮してバス輸送をしたい。公用車が足りてない状況を指摘いただいたので来年度はバス会社等の利用を考えた

**質問**

中学生のスキー授業のレンタル料を補助できないか。

**町長答弁**

レンタル料は3点で1000円と安価。補助することで自前のスキーを持

つ生徒が減少してスキー場に行かなくなることが危惧され、スキー振興に逆行することも考えられる。現段階では考えていない。

**質問**

小学校親善スキー大会などの事務局を町で出来ないか。

**教育長答弁**

統合を3年後に控え教職員間の連携を深めながら取り組んでいく必要がある。親善大会の運営方法、湯沢町学校教育研究協議会の組織のあり方についても検討していく。

行政としても多忙感が増す中、事務局の担当は難しい。当面一番大変な親善スキー大会の役員等を担うことで先生方を支援していきたい。